

第 2 7 回 ミニバスケットボール川口カップ 2 0 1 8

開催日	平成 3 0 年 1 2 月 3 日 (日)	開催場所	戸塚スポーツセンター
試合区分	男子決勝戦	開始時刻	16:40

チーム名 (淡色)

戸田ミニバス

(東・西・**南**・北・中) 地区

チーム名 (濃色)

深谷桜ミニバス

(東・西・南・**北**・中) 地区

11	1 Q	12
15	2 Q	3
10	3 Q	9
12	4 Q	8
	O T 1	
	O T 2	

48

32

【見出し】

勝負所で確実に得点を重ねた戸田ミニバスが本大会男子最多の 6 回目の優勝！

【戦 評】

- 第 1 クォーター
- 試合序盤は、戸田④と⑤のドライブにより連続得点する一方、深谷桜は④のスピードあるドリブルが起点となった早い展開の攻撃により得点を重ねる。中盤、戸田は得点源である⑤にボールを集め、インサイドからの攻撃を組み立てるが、深谷桜の的確なディフェンス対応により、なかなかリズムを掴みきれない中、戸田⑨の外角からの連続得点が決まり、深谷桜の 1 点差リードで第 1 Q は終了する。
- 第 2 クォーター
- 開始早々、戸田は⑦のポストプレイによるファーストシュートが決まり、立ち上がりで逆転する。その後も⑦の力強いドライブとリバウンドにより攻撃のリズムを掴んで順調に得点を重ね、前半を終了する。
- 第 3 クォーター
- 後半は、深谷桜④の外角からのシュートでスタート。戸田は⑤と⑦にボールを集め順調に加点し、一時 1 5 点をリードする。深谷桜は、攻撃のリズムがなかなか掴めない苦しい試合展開が続く中、粘り強いディフェンスで戸田の追加点を簡単に許さない。終盤には深谷桜④の連続バスケットカウントが決まり、3 6 対 2 4、戸田の 1 2 点リードで最終クォーターへ。
- 第 4 クォーター
- 序盤、戸田⑥と深谷桜④が互いにオフェンスの起点となり、得点を取り合う攻防となる。深谷桜はディフェンスのプレッシャーを強め、点差を詰めようと必死にボールを追いかけたが、戸田⑥と⑦の落ち着いたゲームコントロールにより、なかなか点差を縮めることが出来ずにタイムアップ。戸田は、本大会男子の部で最多となる 6 回目の優勝を 3 年ぶりに達成した。

記入者： 多田 義次

埼玉県ミニバスケットボール連盟